

もいのにぎわい通信

2021年11月27日 定例活動報告

日時：2021年11月27日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：晴時々曇 気温10～14℃ 湿度43% 風向 北北西 風速4.1m

参加者：51人：子ども6人、大人45人（内土地改良区3人）

■活動

9:00 作業開始

焼却作業、東側斜面枯れた松の伐採、除草作業、クズの蔓切

10:30 休憩

11:30 焼き芋、

12:00 解散

■活動報告

今日のメインテーマは溜まった間伐材などの残材の焼却です。毎年冬に間伐材の焼却を実施していましたが、コロナの影響で昨年冬の焼却は実施できませんでした。

昨年の2月、3月に松枯病で枯れた南斜面の松を伐採し、池の前2箇所に集めておいたのですが、松の残材にマツノマダラカミキリの卵が寄生していた為、5月～7月にかけてマツノカミキリが発生し、東側斜面の松の樹皮に寄生、その後マツノマダラカミキリに寄生していたマツノザイセンチュウが松へ侵入・増殖し、水を吸い上げる管を圧迫することで松を弱らせ松枯れを起こしたと推測されます。松枯れ病は病状が現れてから枯れるまでのスピードが早く、気づいた時には手遅れと言う場合が多いそうです。

松枯れを防ぐ方法は薬剤散布・注入・焼却ですが、ここまで広がってしまったので、千葉県環境保全課の助言を受け入れ枯れた松を伐採し、速やかに焼却することにしました。

事前に消防署の許可をとり軽トラックに500Lの給水タンクを用意し消火水としました。

消防署より「燃やす際は深さ1mくらいの穴を掘って小分けに燃やすことや廻りに水の入ったバケツを用意し火種がなくなるのを確認してから帰って下さい」と言われました。

間伐材の焼却作業グループ、枯れた松の伐採グループ、刈払機による除草作業グループ及びクズの蔓切グループに分かれ作業を開始しました。

焼却作業は10名以上でまず池の近くに半径2mの穴を掘り、池の前2箇所に集めておいた残材を焼却しました。風向き、風速に細心の注意を払いながら、炎が2m以上にならないように小分けにして燃やしました。1時間経過すると焼き芋ができるような状態となったので、焼き芋用のたき火とし、近くにもう1箇所のたき火を作りました。

枯れた松の伐採は土地改良区の皆さん3名でチェーンソーを使い東斜面の枯れた松を伐採しました。伐採した松はみんなで運び焼却しました。

除草作業は5名で刈払機を使いまだ手をつけていないエリアを中心にススキやクズと格闘しながら進めました。

クズの蔓切り作業は枝に絡んでいるクズの蔓を剪定バサミで刈切る人力による果てしない作業です。この作業を怠ると枝にクズの蔓が巻き付き樹木の成長を阻害するので、森のメンテ作業で1番必要な作業です。

本日の活動はパソナグループ社員及び家族の皆さん24名、一般参加の皆さん17名の参加がありました。昨年3月以来の大人数の参加となりました。

パソナグループの皆さん及び一般参加者の皆さんの協力により午前中だけの作業でしたが、人力が必要な焼却作業や枯れた松の運搬・焼却がスムーズに実施出来ました。

11時30分過ぎにはようやく焼き芋が出来上がりみんなで食べました。焼き芋は格別でした。

帰りに収穫した大量のキウイ(バケツ3杯分)もお土産にしました。

皆さん本日はお疲れ様でした。コロナも収束に向かいつつありますが、十分健康に留意下さい。尚、午後からは2箇所のみ火の消火を行ない、午後4時に完全消火を確認、消防署に連絡し帰宅しました。

(記録： 星野 正人)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、12月11日(土)(雨天の場合12月12日(日)) 除草作業、クズの蔓切、苗木の枝の剪定を行う予定です。



集合写真



除草作業開始



東斜面枯れた松の伐採開始





たき火の為の穴掘り開始



燃やす残材を運ぶ



たき火開始





たき火で焼き芋



休憩



皆でサツマイモを新聞紙とアルミホイルで包み焼き芋の準備



2箇所目のたき火の穴掘り



2箇所目たき火開始

たき火より焼き芋を取りだす



皆でキウイ収穫





キウイのお土産（中央）を前に解散